

伴走支援で広げるサプライチェーンの脱炭素化

【代表的な取組No.2：波及性】

MUFG ファイナンス&リーシング株式会社

1. 取組の概要

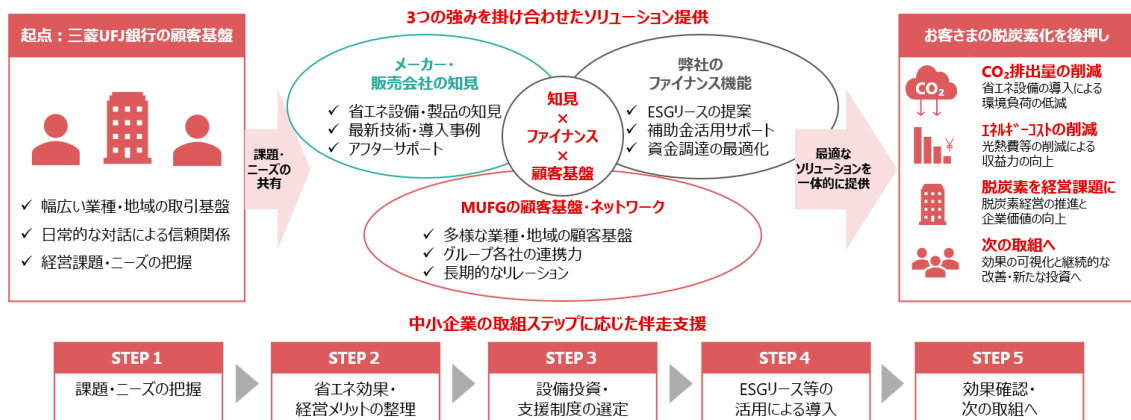
MUFG の顧客基盤を起点に、三菱 UFJ 銀行、メーカー・販売会社等と連携し、中小企業の脱炭素化への取組段階や経営課題に応じて、課題把握から設備選定、補助金・ESG リースの活用までを一体的に支援しています。中でも、CO₂排出量の削減効果が大きく期待できる空調設備・冷凍冷蔵ショーケースを重点領域とし、共通の提案モデルを整備することで、個社支援にとどまらず、取引先や同業企業を含むバリューチェーンへの横展開を推進しています。

2. 取組の目的

中小企業では、省エネ設備の導入効果や支援制度に関する情報・ノウハウが十分でなく、脱炭素化に向けた設備投資が進みにくいことが課題です。本取組を通じて、設備更新によるCO₂排出削減と経営負担の軽減を実現し、脱炭素を経営課題として捉え、具体的な行動に移す契機を創出することを目的としています。

3. 取組のポイント

- ✓ CO₂排出削減効果が大きく、幅広い業種で導入可能な空調設備・冷凍冷蔵ショーケースを重点領域とし、横展開しやすい提案テーマとして明確化。
- ✓ MUFG の幅広い顧客接点に、メーカー・販売会社の製品知見と弊社のファイナンス機能を組み合わせ、案件発掘から設備導入までを一体的に支援。
- ✓ 営業部店向けの提案資料や勉強会を通じて営業プロセスを標準化するとともに、社内表彰制度により営業担当者の取組意欲を高め、地域・業種を越えて展開できる体制を整備。



4. 今後の展望

今後は、案件管理を高度化するとともに、重点設備・連携パートナー・対象業種を拡充します。さらに、バリューチェーンの中核企業やメーカー・販売会社との連携を深め、その取引先に共通する設備更新ニーズを捉えた提案を展開することで、個社の設備導入からサプライチェーン全体の継続的なCO₂排出削減へと取組を発展させ、ESGリースの更なる普及につなげていきます。

以上